

(1) 評価の構想(具体的課題と評価項目)

学校の教育目標	学校経営の重点	具体的課題	評価項目			
			児童	教師	保護者	
進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成	個のよさが 「響き合い輝く 見届け」をい 基盤とした教 育の実践	確かな学力の 定着	(1) 日常授業の改善	① 「話す」、「聞く」をがんばることができたか。 ② 進んで読書をしたか。 ③ 立腰の姿勢で学習しているか。	① 「話す」「聞く」態度を意識させながら学習を進めているか。 ② 図書室を活用し、読書を勧めているか。 ③ 立腰指導を徹底しているか。	① 忘れ物がないか声をかけているか。 ② 「家読(親子読書)」に協力しているか。 ③ 子どもの家庭学習を見届けているか。
			(2) 基礎的・基本的学習内容の定着	④ 計算や漢字、読み声などを続けて学習に取り組んでいるか。 ⑤ 授業の内容が分かるか。	④ 学級の実態や個に応じた指導の工夫や手立てを行っているか。 ⑤ 学習内容の定着を図る工夫を行っているか。	
			(3) 一貫教育の推進と外部との連携	⑥ さいと学や英語活動(英会話)に楽しく取り組むことができたか。 ⑦ 学び合いをがんばることができたか。	⑥ 児童がさいと学や英語活動(英会話)に楽しんで取り組めるような工夫や改善を行っているか。 ⑦ 「学び合い」を位置付けた指導法の工夫改善を行っているか。	
		心の教育の 充実	(1) 「心のコップを上向きに」の徹底	① 自分から進んであいさつをしているか。(地域、家庭、先生、友達) ② 元氣よく「はいっ」の返事ができているか。 ③ 自分の持ち物やトイレのスリッパをきちんと整頓しているか。	① 進んであいさつすることを意識して指導をしているか。 ② 常に元氣のよい返事をするを指導しているか。 ③ 身の回りの整理整頓を行うとともに、児童への指導も行っているか。	① 家族同士、率先してあいさつを行っているか。 ② 子どもに返事をするよう言葉かけをしているか。 ③ 子どもに整理整頓をするよう言葉かけをしているか。
			(2) 人権教育の充実	④ 友達に「くん」「さん」を付けて呼んでいるか。 ⑤ 「ありがとう」「ごめんなさい」が言えているか。	④ 言語環境を意識した指導を行っているか。	④ 子どもの話に耳を傾け、しっかりと聞いているか。
			(3) 規範意識の向上	⑥ ルールやマナーを守っているか。 ⑦ がまんする心をもつ努力をしているか。 ⑧ 危険から逃げる心構えをしているか。	⑤ 善悪の判断に関する具体的な指導を日常的に行っているか。 ⑥ 危険予知と危険回避する指導を行っているか。	⑤ 子どもが正しいことをした時にほめたり励ましたりしているか。 ⑥ 日頃から防災に関する意識をもたせているか。
	たくましい心 身の育成	(1) 基礎体力の向上	① 体力テストの目標を立て、積極的に取り組むことができるか。 ② 昼休み時間などに外で元氣よく遊んだり、ちょこっと運動をしたりしているか。	① 数値目標の設定と結果の分析をもとに指導を行っているか。 ② 体育科学習に体づくりの運動を計画的に取り入れているか。 ③ 外遊びや「ちょこっと運動」(運動の習慣化)をするよう動きかけたか。	① 普段から運動に親しませるようにしているか。	
		(2) 健康教育の充実	③ 毎日、早寝・早起きがきちんとできているか。 ④ 毎日、きちんと朝ご飯を食べているか。 ⑤ 毎日、排便がきちんとできたか。 ⑥ 正しい姿勢で生活しているか。 ⑦ 毎日、ハンカチをもってきているか。 ⑧ 手洗い・うがいをしっかりしているか。 ⑨ 歯磨きをきちんとしているか。 ⑩ 好き嫌いなく食べているか。	④ 日常的に規則正しい生活について、具体的な指導を行っているか。 ⑤ 日頃から正しい姿勢を身に付けさせる指導を行っているか。 ⑥ ハンカチを身に付けたり、手洗い・うがいをしたりする習慣化を図る指導を行っているか。 ⑦ 歯磨きの習慣化を図る指導を行っているか。 ⑧ 好き嫌いなく食べることの大切さについて指導を行っているか。	② 子どもに早寝・早起き・朝ご飯・排便について声かけを行っているか。 ③ 子どもに正しい姿勢について声かけを行っているか。 ④ 子どもにハンカチ・手洗い・うがい・について声かけを行っているか。 ⑤ 子どもに歯磨きの声かけを行っているか。 ⑥ 好き嫌いなく食べるように声かけをしたり食べる工夫をしたりしているか。	
		(3) 安全教育の充実	⑪ 身の回りの安全に注意し、行動しているか。	⑨ 身の回りの環境の危険を予知する指導を行っているか。		
	※ 楽しく学校生活を過ごすことができる児童			※ 学校生活は楽しいか。		

(2) 評価内容と方法

- 評価内容は、児童の学習面の到達度については、全国学力調査、県学力調査、NRT検査、ベネッセテスト等の結果も参考にする。
- 平成30年度の教育的課題(重点目標)を検証する形で評価を計画し、児童については成果指標、教職員については取組指標をアンケート等により評価する。保護者については、保護者の取組と学校の取組に対する2つの観点からアンケートにより評価する。(4参照)
- 各学級、各指導部においては、各種指導事項に関するデータをもとに評価を行う。
- 役割達成度評価や職務行動評価との関連も踏まえ、教職員の取組について評価を行う。
- 月ごとの各種行事の評価や学期ごとの職員会での成果と課題についても評価の資料として位置付ける。

(3) 評価の種類と時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各種学力調査等	全国・県学力調査、NRT								ベネッセ			
児童アンケート										アンケート		
教職員アンケート										アンケート		
保護者アンケート										アンケート		説明(P T A総会)
教職員評価 ・役割達成度評価 ・職務行動評価	経営ビジョン・重点目標設定		ミーティング		1学期の取組を受けての改善案検討		中間ミーティング		参考意見聴取シート提出		評価シート提出 フィードバック	
学校評議員会 学校関係者評価			第1回会議 経営方針、重点事項への取組説明		○ 学校評価の評価項目内容の検討 ・自己評価の方法及び評価書様式の決定 ○ 各種情報の提供と収集					第2回会議 学校評価についての自己評価書説明と評価		
学校経営	経営説明		評価		次年度に向けての改善点の検討				評価		次年度の重点目標と具体的方策についての検討	

4 学校の取組に対する保護者のアンケート項目と基準

		4	3	2	1	肯定評価
地域に信頼される学校	1 子どもは楽しそうに学校に通っていますか。	15	5	0	0	100.0%
	2 確かな学力をつける努力をしていますか。	17	3	0	0	100.0%
	3 子どもの悩みや相談に誠意をもって応じていますか。	14	6	0	0	100.0%
開かれた学校	4 学校・学級の教育方針や教育活動の状況を知らせていますか。	15	5	0	0	100.0%
	5 子どものことを相談しやすいですか。	12	7	0	1	95.0%
協働意識をもった職員	6 保護者や地域の方と協力し合って教育を行っていますか。	15	5	0	0	100.0%
	7 学校の職員は一丸となって教育にあたっていますか。	14	6	0	0	100.0%

基準例

- 4…とてもあてはまる。
- 3…だいたいあてはまる。
- 2…あまりあてはまらない。
- 1…ほとんどあてはまらない。

5 数値目標の設定

アンケートの場合は、「とてもあてはまる。」「だいたいあてはまる。」という肯定的状況を合わせた達成率で設定する。

令和元年度 西都市茶臼原小学校 自己評価書

学校の教育目標	進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成
本年度の重点目標	確かな学力の定着 心の教育の充実 たくましい心身の育成

児童の成果目標のとらえ方	教師の数値目標のとらえ方	総合評価基準(4段階)
4 よくできている	4 頻繁に行っている(9割以上)	4 期待以上
3 だいたいできている	3 かなり行っている(6割以上~9割未満)	3 ほぼ期待通り
2 あまりできていない	2 時々行っている(2割以上~6割未満)	2 やや期待を下回る
1 できていない	1 ほとんど行っていない(2割未満)	1 改善を要する
※自己評価での4・3の回答割合		

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者評価	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標(成果指標)	教師の取組に関する数値目標			児童達成率	教師達成率	総合評価		
確かな学力の定着	①「話す」「聞く」をがんばったという割合を80%以上にする。	①「話す」「聞く」態度を意識させながら学習を進めているという割合を90%以上にする。	○学習指導週間の充実 ○日常の学習における指導の充実	○達成率が若干上がっている。教師の指示や児童の発表中は、やっていることを止め、体を向けるという具体的な指導を行っている。●「聞く」については、個人差があり、集中して聴ける児童を増やしていくことが課題である。	H30 83.0%	H30 72.7%	3	3	○先生方の達成率は、よい評価が多くなったように感じた。校長先生の学校経営方針が響いた結果のように見受けられる。○やや落ち着きのない児童も、学年が上がるにつれ成長し、少しずつ落ち着きがみられるようになってきている。○茶臼は児童数が少ないことで得られるメリットが多数ある。自立する力や、教職員の児童一人一人への目配り、気配りができる教育環境が素晴らしい。半面、そのことが、デメリットになる部分もある。○大人数のグループに入っていくために必要なコミュニケーション能力や他人との接し方など、茶臼原小学校を巣立ち、中学校へ進学するときにその能力不足を感じる。○今後、西都市では、中学校再編に向けて動き出すとのことで、そうなればもっと中学校校の生徒数が増えることが予想される。したがって、小学校の時期から大人数に慣れておく必要があると感じる。今後、他校との合同学習や交流の機会が増えるとういと思う。
	②進んで読書をしたという割合80%以上にする。	②図書室を活用し読書を勧めているという割合を90%以上にする。	○読書量データを活用した読書活動の推進 ○図書室の整備	○昨年度よりも500冊以上貸出し冊数が増えている。○西都市立図書館の本を学級に入れているが、よく利用している。●読書意欲に個人差があるため、昼休みの放送等で意欲喚起をしているところである。「読書の日」の前には、保護者に学級通信等で呼びかけていく。	H30 75.5%	H30 90.3%			
	③立腰の姿勢で学習ができたという割合を80%以上にする。	③立腰の姿勢について指導を十分に行ったという割合を90%にする。	○声かけ指導の徹底	○健康教育部の取組のおかげで、児童も立腰への意識が高まった。●立腰に意識が向きすぎると学習内容が入っていかないことがあるので指導にメリハリをつけていく。	H30 77.4%	H30 72.7%			
基礎的・基本的学習内容の定着	④計算や漢字、読み声などを続けて学習に取り組んでいるという割合を80%にする。	④学級の実態や個に応じた指導の工夫や手立てを行っているという割合を90%以上にする。	○実態把握の充実 ○教材研究の充実 ○学習指導法の工夫改善 ○学習評価の充実 ○主題研究の充実 ○かがやきタイムの充実	○各学級の取組(読み声、詩の暗唱)があり、8割程度の児童が継続した取り組みができている。●宿題の見届けについては、保護者の協力が不可欠なので、経営方針にもあるように、常時、働きかけていく。	H30 94.3%	H30 100%	2	3	○天心館の子どもたちは、学力的には様々ですが、元気に楽しく小学校に通えていることが素晴らしいと思う。
					R1 84.9%	R1 90.0%			

確かな学力の定着	西都市一貫教育の推進	⑤授業内容が分かると答える割合を80%にする。	⑤学習内容の定着を図る工夫をしているという割合を90%以上にする。	○4つのチェックポイントを視点とした授業改善 ○家庭学習の充実	○少人数であるため、個別指導も充実させることができ、未定着の部分を補充することができた。 ●4つのチェックポイントの意識を教師側がしっかりもちながら教えるべき、考えさせるべき内容の精選をしたい。	H30 94.3%	H30 100%			
	学び合い	⑦学び合いをがんばれたという割合を80%以上にする。	⑦学び合いを位置付けた指導法の工夫や改善を行っているという割合を80%以上にする。	○学び合いを位置付けた指導法の工夫改善	○総合的な学習の時間70時間(さいと学35時間、残り35時間)の年間指導計画一覧表を見直すことができた。残り35時間の内容については、「福祉教育」や「環境」「実態に応じた学習」の大きな観点で、細案まで作成することができた。 ●「さいと学」の内容の見直しを令和2年度から市教委主導で行う予定である。 ●情報教育の年間指導計画の整備、新しいPC環境でのプログラミング教育の実技研修、キャリア教育の指導計画の整備など、課題は残されている。 ●児童の評価が大きく下がっているのは、外国語教育(活動)の内容が大きく変わり、活動よりも内容重視になってきている取り扱いの仕方の変化が大きく影響している。昨年度までのように90%以上を目指すのは難しいが、内容や取り扱い方を知識理解偏重にならないように工夫し、80%以上を目指したい。	H30 94.3%	H30 75.0%	2	2	
						R1 83.0%	R1 100%			
						H30 88.7%	H30 60.0%			
						R1 83.0%	R1 90.0%			

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者評価	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標(成果指標)	教師の取組に関する数値目標			児童達成率	教師達成率	総合評価		
心の教育の充実	①自分から進んであいさつをしているという割合を、地域の人90%以上、家の人90%以上、先生90%以上、友達90%以上にする。	①進んであいさつすることを意識して指導しているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実 ○あいさつ運動の実施 ○校外学習等での実践	○教師の高い取組意識の指導の下、学校内でのあいさつは習慣化してきたといえる。 ●地域や家庭など、人を選ばずだれにでも進んであいさつするまでには至っていない。	H30 地域90.6% 家庭90.6% 先生94.3% 友達96.2%	H30 100%		3	3
	②元気よく「はいっ」の返事ができているという割合を90%以上にする。	②常に元気のよい返事をすることを指導しているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実	○教師の高い取組意識の下、元気のよい返事の定着率が上がってきた。現状維持を図っていく。	H30 90.6%	H30 100%			
					R1 86.8% 家庭84.9% 先生83.0% 友達84.9%	R1 90%			
					R1 92.5%	R1 100%			

○言われたことだけやれる子ども、言われたこと以上に気づいてできる子ども、子どもの考え方は、「家庭の鏡」だと思われくらいで、それぞれの家庭環境もあり、難しい問題でもある。
○感謝することに気づかず、あまのじゃくな子どももみられるが、家庭を見ると、両親のどちらかが感謝することが苦手なようだ。
○子どもたちが、先生方との交流を通して人間に対する信頼を取り戻していく姿は感動的だ。

心の教育の充実		③自分の持ち物やトイレのスリッパをきちんと整頓しているという割合を85%以上にする。	③身の回りの整理整頓を行うとともに、児童への指導も行っているという割合を80%以上にする。	○靴箱・トイレのスリッパの整理整頓の徹底	○教師の取組意識は高い。給食時の委員会による放送もよい影響を与えているように感じられる。しかし、整理整頓が身についている児童とそうではない児童の二極化が見られる。	H30 92.5%	H30 90.9%			
						R1 84.9%	R1 90.0%			
	思いやりのある心、感謝の心の育成	④友達に「くん」「さん」を付けて呼んでいるという割合を90%以上にする。	④言語環境を意識した指導を行っているという割合を80%以上にする。	○名前の呼び方の指導の徹底 ○教師の言語環境の充実	○教師の取組意識は高い。「くん」「さん」付けで呼ぶことが身についている児童とそうではない児童の二極化が見られる。 ●さらに言語環境を整える指導を徹底していく。	H30 94.3%	H30 72.7%	3	3	
		⑤「ありがとう」「ごめんなさい」が言える割合を90%以上にする。		○場の指導の徹底 ○教師の言語環境の充実	○教師の取組意識は高い。「ありがとう」「ごめんなさい」が言える児童とそうでない児童の二極化が見られる。 ●さらに言語環境を整える指導を徹底していく。	H30 96.2%	R1 90.0%			
		規範意識の向上	⑥ルールやマナーを守っているという割合を90%以上にする。	⑤善悪の判断に関する具体的な指導を日常的に行っているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実 ○登校班会での指導 ○教育相談の充実	○教師の取組意識は高く、児童の達成率も伸びていることから指導の成果が表れてきたといえる。 ●今後も機会をとらえて、指導の充実を図っていく。	H30 88.7%	H30 100%	3	3
			⑦がまんする心をもつ努力をしているという割合を90%以上にする。			○教師の取組意識は高い。年齢が上がるにつれて、忍耐強い態度が見られる。 ●発達段階に応じた指導を徹底していく。	H30 94.3%	R1 100%		
	防災に関する指導の充実	⑧危険から逃げる心構えをしている割合を80%以上にする。	⑥危険予知と危険回避をする指導を行っているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実 ○避難訓練の充実	○教師の取組意識は高い。避難訓練時の児童の態度も良好である。 ●今後も機会をとらえて、指導の充実を図っていく。	R1 92.5%	R1 100%	3	3	

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者評価	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標 (成果指標)	教師の取組に関する数値目標			児童達成率	教師達成率	総合評価		
たくましく心身の育成 基礎体力の向上 健康教育の充実	①体力テストの目標を立て、積極的に取り組んだという割合を80%以上にする。	①数値目標の設定を方針のもとに指導を行っているという割合を80%以上にす ②体育学習に体づくりの運動を計画的に取り入れているという割合を80%以上にする。	○体力の実態把握 ○体育学習の充実	○体力向上プランにおいて各学年で目標を設定した。 ●具体的実践の紹介を随時していく。 ○体力向上プランを基に、日頃の体育学習に生かしていただいている。	R1 88.7%	R1 80.0%	4	4	○子どもたちの通学路の安全志意識は、なかなか難しいが、先生方が通勤される時に車で通過していただいただけで緊張感が増すとされる。是非、当番を決めて、巡回してもらいたい。上茶は、6時50分から7時15分までの間が油断時間である。
	②昼休み時間など外で元気よく遊んだり、ちょこっと運動をしたりした割合を80%以上にする。	③外遊びや「ちょこっと運動」(運動の習慣化)につながる指導を取り入れているという割合を90%以上にする。	○ちょこっと運動の実践 ○各項目を高めるための運動の紹介	○朝の会や体育等で継続的実践を行っている。 ●学校全体で啓発していく。	H30 96.2%	H30 90.9%			
	③毎日、早寝・早起がきちんとできたという割合を80%以上にする。	④日常的に規則正しい生活について具体的な指導を行っているという割合を90%以上にする。	○すくすくチェックの実施 ○保健便りの発行	○毎月実施できた。 ●マンネリ化している。次年度は、年3回を重点的に行う。 ○保健だよりは毎月発行できた。 ●具体的数値を掲載し、保護者への啓発を図る。	H30 88.7%	H30 72.7%			
	④毎日、きちんと朝ご飯を食べているという割合を90%以上にする。			R1 90.6%	R1 100%				
	⑤毎日、排便がきちんとできたという割合を60%以上にする。			H30 84.9%	R1 100%				
	⑥正しい姿勢で生活しているという割合を80%以上にする。	⑤日頃から正しい姿勢を身に付けさせる指導を行っているという割合を90%以上にする。		●声を掛けるとその場だけはよいが継続しない。ちょこっと運動で体幹トレーニングを取り入れていく。	H30 86.8%	H30 90.9%			
					R1 83.0%	R1 90.0%			

たくましい心身の育成

	⑦毎日、ハンカチを持ってきているという割合を90%以上にする。	⑥ハンカチを身に付けたり、手洗い・うがいをしたりする習慣化を図る指導を行っているという割合を90%以上にする。		●教師が把握しきれていない。健康観察の時のチェック徹底をする。	H30 90.6%	H30 100.0%	3	3	
	⑧手洗い・うがいをしっかりしているという割合を90%以上にする。			●継続して、常時呼び掛けていく。	R1 77.4%	R1 100%			
	⑨歯磨きをきちんとしているという割合を90%以上にする。	⑦歯磨きの習慣化を図る指導を行っているという割合を90%以上にする。	○学校保健委員会での保護者への意識の啓発 ○歯磨きカードの活用 ○集会等での意識の啓発	○歯ブラシ点検が児童の意識化につながったので、継続していく。(2か月に1回程度) ●学校ではできている。家庭への啓発が必要である。	H30 90.6%	H30 100%	3	3	
	⑩好き嫌いなく食べているという割合を90%以上にする。	⑧好き嫌いなく食べることの大切さについて指導を行っているという割合を90%以上にする。	○給食時間の指導の徹底 ○学級活動等での指導の実施	●偏食指導において、学校で統一が図れていない。学校全体での方針を定めていく。	R1 84.5%	R1 100%			
安全教育の充実	⑪身の回りの安全に注意し、行動しているという割合を90%以上にする。	⑨身の回りの環境の危険を予知する指導を行っているという割合を90%以上にする。	○日常指導の徹底 ○避難訓練の定期実施 ○安全点検の実施	○安全点検は毎月実施できた。 ●児童の安全意識が低い。来室時の指導を継続していく。	H30 88.7%	H30 100.0%	4	4	
					R1 81.1%	R1 100%			
※楽しく学校生活を過ごすことができる児童	※学校は楽しいという割合を90%にする。				H30 98.1%				
					R1 92.5%				